

語りえるまちへ 地区懇談会を開催しました

■地域支援課 ☎57-8503

本年度からより地域に寄り添った形にするため、市主催と自治会・協議会が主体となる2つの方法で地区懇談会を実施しています。

4月13日から4月20日にかけて、市主催の地区懇談会を5町5カ所で開催し、参加者は148人でした。懇談会でいただいた市政へのご意見やご要望から抜粋して紹介します。

■掲載にあたり、発言の一部を誌面に書き直させていただいています。

■掲載している内容は、掲載写真に写っている市民の方の発言ではありません。



▶資料

●防災

Q 災害時、消防車に積み込む水はどう確保するのか。復旧に時間がかかるし、対応にはかなりの量が必要と思う。香南市には立派な港があるので、そこへ県外から給水船を要請することは考えられないか。

A 災害時の消火用の水については、耐震の貯水槽を計画し、順次設置しています。大規模災害では消火栓が使えなくなる恐れがありますので、適切な箇所に設置していきたいと考えています。

Q 災害時の飲料水備蓄については、1万2千人分の1日分のペットボトルを野市防災備蓄倉庫に備蓄しています。しかし、それだけでは足りないと思いますので、市内50数カ所。

A 災害時の飲料水備蓄については、1万2千人分の1日分のペットボトルを野市防災備蓄倉庫に備蓄しています。しかし、それだけでは足りないと思いますので、市内50数カ所。

所の避難所に、貯水槽の整備を予定しています。

A 外部からの給水支援については、協定等もありますので、そちらとも詳しい話をしていきたいと思います。その他に陸上自衛隊とも給水を盛り込んだ協定の話をしています。

Q 夜須町の教育施設のほとんどが津波が来た時の浸水予想地域となっている。避難訓練もしているが、一時避難所や備蓄倉庫など雨風をしのぐ場所が夜須町にはない。広域避難をということも聞いていますが、子どもたちが一時避難生活できるような防災コミュニティセンターの建設してほしい。

A 夜須町の保幼小中は、現在はずまず自らの命を守ることを第一とし、一番

●生活環境

Q ふれあいセンターのトイレについて、和式が多いので洋式に変えてほしい。学校のトイレの状況がどうなっているのかも教えてほしい。

A 学校は、小中学校とも今年度中にすべて洋式になります。ふれあいセンターについては、今のところ計画がありませんが今後検討していきます。

●産業廃棄物処理施設

Q 産業廃棄物処理施設についてお聞きしたい。

A 県事業である最終処分場は、市長判断でできるものではありません。山南地区の現状や歴史的なことも踏まえ、現時点で設置は困難であると考えています。

Q 粗大ごみの年間回収について当番員は今後も必要なのか。回収は年に1度だけか、2回してほしい。

A 試験回収の結果、当番員が必要で、年1回が限度であると考えています。当番員がいなくても分別できる状況になれば、回数を増やしていくことも検討します。



Q 高規格道路について、野市の整備が遅れていると聞いたが、物部川の橋はいつ頃できるのか。

A 平成28年度に用地測量をしました。同意をいただけた方から順番に5月下旬から用地買収が開始され、それが済み次第埋蔵文化財の調査となる予定です。国・県・市が一緒に進めており、しばらく間があきましたが、今は順調に進んでいます。



近くの裏山に避難することになっていきます。一時避難所、備蓄倉庫等についてはこれから取り組みになっていきます。

Q 夜須町は保幼小中が津波浸水予想地域にあるので、消防屯所や支所も含めた施設の高台移転を考えていく必要があります。現在、庁内で検討中で平成30年度中にはある程度の計画をお示しします。

A 現在、香南市全体での対策（高台移転等）を考えた時に適正な規模、配置について、それぞれの専門家を含めた検討委員会でご検討しています。市としては、命を守るための施策とその後の命を繋ぐための施策をという事で、広域避難も考えていく必要があると考えています。

●観光

Q 香南市には土産物がない。山田高校が検討していたが、できたのか。

A 去年の2月に山田高校1年生が8チームで検討し、1位は山北ミカンを使ったジャムでしたが、まだ商品化されていません。他にしらすを揚げた「ジャーカリ」という商品はお店にも協力してもらって試食までいきましたが、香南市の土産物というまでにはなっていません。観光協会が開発した「みかん大福」や、最近では農林課が実施している事業の中で昨年できた「みかんバター」は人気が出ています。

●子育て支援

Q 第2子の保育料無料化について、同時入所できなくても対応できないか。

A 同時入所の時に経済的負担が大きいのかわからないので、今回はその部分の負担軽減に取り組み、制度化しました。今後については市の財政も考慮しながら検討していきます。



清藤真司市長

Q 新聞にあったとおり、4月1日から休止の状態で。新しい管理者を公募しており、複数応募があった場合は、審査会を開き、議会に議案を提出し承認が得られればはじめて指定管理者になりますので、早くても再開は7月1日以降になります。

A また、今の条例では土日だけの営業となっていますが、新しい管理者の方が日数を増やしたいということであれば条例を改正して営業日を増やすことが可能なので、決まり次第お知らせしていきます。

●地区懇談会へのご参加ありがとうございました

地区懇談会の開催目的は、市が地域住民の皆さんに重点施策などを説明するとともに、地域の声を行政の各方面に反映させていくことです。

8月上旬まで自治会・協議会が主体となる地区懇談会を募集していますので、地域での開催をよろしくお願います。今後地域の方の声を行政に反映できるように取り組んでいきます。